

人気映画のロケ地で注目の象山映画村 若年層掘り起しの新たな観光資源に

日本春秋旅行と春秋航空日本、寧波映画文化管理委員会象山映画村開発は今年8月、日本の旅行会社などを対象に寧波市象山映画村への視察旅行を実施しました。

高まつており、広く寧波の観光資源や産品を積極的にアピールしていくことで、日本人旅行者の誘致拡大を図っていきたい」と説明しています。

中国でもトップクラスの映画撮影所

日本春秋旅行の鄧鉄輝・社長補佐兼アウトバウンド部本部長は、視察旅行について、「日本でも人気を集めている映画のロケ地になるなど、象山映画村への注目が

2005年にオープンした象山映画村は、約73ヘクタールという広大な敷地に、武侠天地、民国市街地、江湖小鎮、星夢工場など

のテーマエリアをもつ、中国国内でもトップクラスに入る映画の撮影所です。様々な時代や場所をリアルに再現したオープンセットでは、中国の人気テレビ番組や大作映画などのロケが頻繁に行われています。

目指す動きも進む中、中国旅行市場における若年層の需要開発などにも貢献する新たな観光資源としても、象山映画村の存在が改めてクローズアップされてきています。

また、西安でも「キングダム」の聖地を巡る現地発着型ツアーを企画する動きも出てきました。

今年4月に公開されて話題を集めた日本映画の「キングダム」も象山映画村をロケ地として撮影されており、『週刊ヤングジャンプ』で連載中の同名コミックスの人気も高いことから、「キングダム」ファンにとっては象山映画村が「聖地的なスポット」として注目されつつあるようです。

現代の作品もツアー企画のヒントに

日中間で青少年交流の拡大を

現代の作品もツアー企画のヒントに活用していただきたい」と呼びかけています。



新たな観光スポットとして注目される象山映画村



今年8月に実施された研修旅行の参加者の皆さん



海洋漁業の発祥地で商港としても栄えた石浦古鎮



明代に造られた天一閣は現存する中国最古の書庫です



航海に出る商人が無事を祈るために集ったという慶安會館

中国駐東京観光代表処